

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(アサリ) KD-22-08号

平成22年6月4日発行

プランクトン及び貝毒検査を5月31日～6月4日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・麻痺性貝毒検査(6/3)の結果、今回検査した全地点で麻痺性貝毒は検出されませんでした。

・下痢性貝毒検査(6/4)の結果、下痢性貝毒は検出されませんでした。

・貝毒原因プランクトンも散見される程度であり、問題ありません。

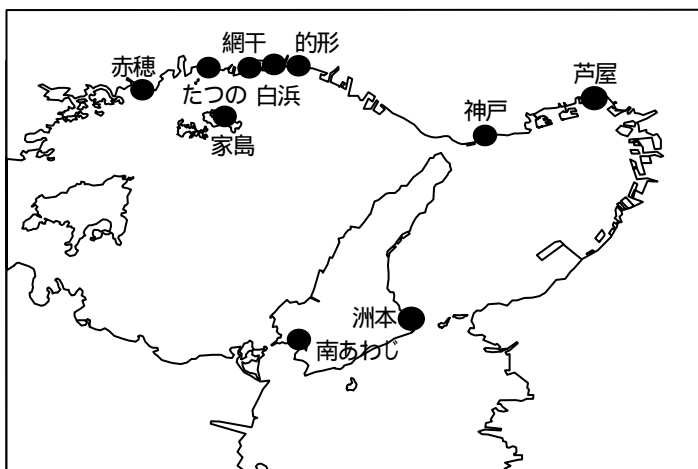
今回をもって、水産技術センターでの今年春期のアサリの貝毒調査は終了します。



【検査結果】

年月日(採水・採取)	H22.5.31	H22.5.31	H22.5.31	H22.5.31	H22.5.31	H22.5.31	H22.5.31	H22.5.31	H22.5.31	H22.5.31
地点(St.)	芦屋(潮岸公園)	神戸(垂水)	姫路(的形)	姫路(白浜)	姫路(網干)	姫路(家島)	たつの	赤穂(唐船)	洲本	南あわじ(福良)
水温()	17.4	17.4	19.0	20.0	18.0	17.5	18.0	17.9	19.9	17.6
塩分	29.8	31.5	31.4	31.1	23.0	31.2	31.1	30.2	31.7	32.4
貝類の毒化状況 (マウスユニット/g)	麻痺性貝毒	ND						ND	ND	ND
	下痢性貝毒							ND		
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム タマランセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0	0	0	0	0	540
下痢性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム カテナラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	20	0	60	20	20	20	0	0
	ディノフィシス アキューミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0	0	20	0	20	0	0	0

NDとは、検出限界以下のことです。



< 規制の基準 >

麻痺性貝毒: 4マウスユニット/g
下痢性貝毒: 0.05マウスユニット/g } を超えた場合

< 注意が必要なプランクトン密度 >

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマランセ
Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテナラ
Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

・10月からは養殖カキの貝毒調査を予定しています(10/18の週を予定)。調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当: 資源部・山下、宮原)
Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>